

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名		国民年金協議会参画事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	健康福祉部	課長名	野口 政浩
	施策	2	行政改革の推進		所属課	保険年金課	担当者名	杉山 純一
	施策の柱	7	市民サービスの向上		所属班	保険年金班	(内線)	1175
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 7	事業連番 11075	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 菊池地域の年金担当及び熊本西年金事務所の職員が集まり、事務研究会を行う。 被保険者が行う各手続き及び市町村の受付事務を統一するため。 研究会を通して少しずつ統一ができています。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金事務研究会がおこなわれた。 菊池地域国民年金協議会がおこなわれた。 九州都市国民年金協議会がおこなわれた。 熊本県都市国民年金協議会がおこなわれた。
【主な予算費目】	国民年金事務費 旅費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	年に数回行われる協議会で担当者が集まる事によって、あまりない事例などについて意見を申し合ったり、手続きを揃える事によって仕事がしやすくなっているのので、これからも協議会を続けていって欲しいとの意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金事務研究会出席 菊池地域国民年金協議会出席 九州都市国民年金協議会出席 熊本県都市国民年金協議会出席 	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 開催回数	人	<ul style="list-style-type: none"> H30年度の九州都市国民年金協議会の開催地が沖縄市のため、旅費が54千円増になります。 菊池地域国民年金協議会負担金が見直しされ、2千円減になります。 熊本県都市国民年金協議会の負担金がなくなったため1千円減になります。 全国都市国民年金協議会負担金について、H30年度に大分市で開催されるため開催市に経費の負担が掛からないよう、九州ブロック全市で負担すること、H28年度開催の協議会において決議されているため10千円増になります。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	菊池地域の年金担当者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ ア: 年金担当者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	協議会を開催することにより、菊池地域担当職員の知識を高める。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ ア: 意思疎通ができるようになった回数
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
協議会に参加することにより、市と年金事務所とのやり取りがスムーズに出来るので、指標としては、意思疎通ができるようになった回数がふさわしい。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込	
① 活動指標	ア	回	4	3	6	4	6	5	5	5	
	イ	人	7	7	7	7	7	7	7	7	
② 対象指標	ア	人	4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	6	6	6	6	6	6	6	6	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	13	25	30	26	18	25	25	25
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円									
人件費	(A) 事業費計	千円	13	25	30	26	18	25	25	25	
	(A)のうち指定経費	千円	13	10	14	11	18	9	9	9	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	2	3	3	3	3	3	3	3	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	130	140	120	140	120	120	120	120	
	(B)人件費計	千円	482	0	478	553	478	478	478	478	
トータルコスト(A)+(B)		千円	495	25	508	579	496	503	503	503	

事務事業名	国民年金協議会参画事業	所属部	健康福祉部	所属課	保険年金課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 29年度同様にするため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 各市町であった事例を勉強することにより、担当者の知識も増える。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 年金事務所と各市町との連携して取り組む。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 資料費だけで、事業費は、かかっている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 担当者1名で対応しているため
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 他の市町との話し合いで事務内容を同じくしているので公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 必要最小限の人数で協議会に参加しているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

現状維持を目標とする。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					